

《にこにこネット会員の思い》

にこにこネットの発足より 1 年半が経過いたしました。手探りで始まった仲間づくりでしたが、その間に俳句、ウォーキング、食事会、カラオケ、ゲーム、鑑賞会やセミナー幹事会としての役割などにより、少しずつ絆を深めてきたように思われます。その他にもNSNの各委員会、各種イベントに参加して、他の同期会の皆さんとの交流もありました。

会員 22 名が現在どんな思いを抱いてNSNに参加、活動しているのか、仲間への気持ちも含めて短い言葉ですが各人の思いを綴ります。

▶主にウォーキングの会に参加、皆さんと未知の経験を楽しめて、毎回感謝です。▶個性豊かな方達が集まり、会が長く続く事を願います。▶楽しいイベントに参加、提案していきたい。▶将来を思えば、他会との交流、もっとオープン参加行事があって欲しい。▶セミナー講演者との折衝では緊張感を持った仕事ができ、貴重な体験でした。和気あいあいの楽しい有意義な会です。▶サマーフェスティバルでは皆さんの若さを貰いました。充実した日々です。前向きでした。▶シニアセミナーではお役目を頂いて良い思い出になりました。▶定例会では仲間の話をもっと聞く時間が取れたらいいですね。▶老後は栄養と運動と仲間作り。いい仲間に出会えました。感謝。▶各同期会が活性化してこそ、横つながりでNSNも活性化。これからいろいろ行っていきましょう。▶イベントには都合がつけば積極的に参加します。楽しい企画に感

謝です。アイデアがあれば定例会等で発言します。

▶何かの縁で知り合った者同士、共に楽しい時間を過ごさせて頂いています。▶さまざまな出会いがありました。どれもこれもいい経験です。お出かけ好きな私、街歩きにはもっと参加しようと思う。▶会長は会の顔なので不都合が無ければ変更しないで、皆で支えていけば良いと思います。▶1 年目にシニアセミナーを担当し、各々が責任を果たした事で一層まとまり円滑に活動が来ています。▶新しい仲間が出来て楽しいです。これからはもう少し行事に参加します。▶シニアには一寸ハードル高めですがNSN・にこにこネットは気楽に楽しめる会です。▶役員の変更選出には、いささか前向きでは無いですがお互い補い合っています。▶NSNの顔として武藤さんはバランスが取れていて適任。不都合が無ければ続けて頂きたいです。▶事務局の存在が良く解りません。同期会の会長が月例会や活性化委員会でNSNの為に議論しているのでしょうが身近に感じないのが淋しいです。▶寄る年波には勝てませんが健康に気を付けて楽しみたいものです。

感謝、決意、要望等と各人の思いの吐露となっているこの書き込みがNSN発展の参考となれば幸いです。また各同期会の皆様には良きアドバイスを期待しております。

今後ともNSNの仲間としてのにこにこネットをよろしくお願ひ申し上げます。



定例会状況

(にこにこネット 会員一同)

チャリティーオークションの案内

来る2月29日(木)午後2時~4時(スタッフ、出展者は1時半集合)石神井公園区民交流センター2階集会室にて、第5回チャリティーオークションが開催されます。

プライスレスなもの、及び、私がお勧めする逸品、という2つのジャンルから出品物を募っています。

チャリティー先は、ユニセフです。“人類をつなぐ子供達”に対しての支援です。かつて、私達も支援を受ける立場でした。

微力ではありますが、コミュニケーションを楽しみつつ、奮ってご参加下さい。

さわやか '17 橋本直樹

オセロ大会中止の報告

11月14日にオセロ大会開催を計画しておりましたが、残念ながら参加希望者数名という結果になり、中止と致しました。

会場の確保 ならびにオセロの調達にご尽力頂きました関係者の皆様、誠に申し訳御座いません。有難う御座いました。

活性化委員会 齋藤

集い、楽しむ、Futaber。

「となりのトトロ」のモデルと言われる八国山尾根道を歩いた。一昨年の梅雨の晴れ間、17名の会員が参加した。トトロの森では、そとどこかからトトロがみているようだ。猫バスに乗らなくても皆、約1時間かけて無事歩きぬき、ご褒美として咲き乱れる10万本の花菖蒲が迎えてくれた。

残念ながら、高齢者にはトトロも猫バスも見えないそうだが、心のきれいな約1名が見たと言っていた(笑)。東京都と埼玉県の境目にあつて、主人公の母親が入院していたのではと言う病院も隣接している。



ふたば会では毎月1回、約2~3時間かけての散策が基本で、史跡や名勝めぐり・見学・鑑賞・学び・体験等を組み込んだ活動を行っている。会員を4つのグループに分け、それぞれが幹事会となり、順番に企画し、下見を経て実施、皆を案内している。会員は年に約3回幹事が回ってくる計算で、2~3年でメンバーはシャッフルされ、いつも新鮮な顔ぶれが揃う。活動内容は毎月の例会でチームごとに報告され話し合われる。正月は七福神めぐりと決めている。東京地区だけで25か所以上のコースがあるそうで、毎年巡ると25年以上かかり、まだまだ先は長い。

プランを立てる上で、誰でも気軽に参加できるように、費用負担は出来るだけ少なく、時間的にも昼食後集会で夕方解散を心がけている。また観光主体の活動も避けている。何はともあれ、会員の知的好奇心は旺盛で、みなさま、いくつになっても老化しないのではないかと思います。活動中は目が輝き、ボランティアガイドさんへの質問が絶えない人も。会員にはいろいろな方がいらっしやり、企画を立てるのが好きな方、



防衛省見学



日光街道草加宿散策

人を引率するのがうまい方、ガイドが得意な方等、持ち味を活かしている。もちろん終わった後、その土地の居酒屋で自由参加の反省会が大好きな方も。「じいじ、ばあば、Futaber」と、語呂合わせとしてふたば会で活発に活動する人という意味で、「ふたば」に「er」を付けて「Futaber」と呼んで高齢化社会のど真ん中世代として集い、楽しんでいる。

勉強会等を含めて、すでに約60件を超える毎月の活動を続けている。活動記録集を冊子として編纂するのも面白いが、ネット上で活動報告書データがファイルされているので会員間では盛り上がっていない。

ふたば会には他に同好会というのがあって、2人以上集まれば発足する。今までに、健康マージャンは有志で毎月1回開催、2卓は困っている。ゴルフやボーリング、最近ではカラオケを楽しんでいるグループもある。変わりどころで「シルバーパスを使ってバス旅を楽しむ会」というのがあり、都内の路線バスを乗り継いでどこまでいけるかを調べ、実際に乗ってみる会だ。第1回は青梅車庫までで、花小金井駅前から乗り換えなしで1時間40分かけて乗ってきた。都営バスでの最長営業区間だそうだ。参加者のうち発起人さんは過酷で、練馬駅前からバスをいくつも乗り継ぎ花小金井駅まで来て合流した。どれほどの時間がかかったのかしら。今度はどこまで路線バスで出かけるのか期待が膨らむ。

いくつになっても向上心と豊かな夢を持ち、何事にも好奇心を忘れずに、体を動かし、脳を働かせ活性化し、学ぶ。ふたば会は皆で老化しらずと言えるシニアライフを楽しんでおります。

——ふたば会 鈴木光夫



東海七福神巡り



巾着田の歴史散策と曼殊沙華

【編集後記】

NSNの運営連絡会のメンバーを辞し、一同期会会員として、外からNSNを見ることになった。

NSNの活動内容は、この会報を通してのみ知ることになり、会報は一般会員が、解りやすく、親しみ易いものに益々しなければならぬとつくづく思うものである。(五)